



交差点の概要

下藤環状交差点は、走行速度及び交差点通過速度を低下させることにより、路線全体の安全性の向上及び、信号による待ち時間が無くなることにより、スムーズな通行を確保するため整備しました。環道優先となるため、流入箇所「ゆずれ」の路面標示を設置し、中央島には、「左矢印」の看板を設置し、逆走防止などを図っています。

環道とエプロンへの境に段差（5 cm）を設けることにより、速度抑制を図っています。

中央島には、交差点の景観性を配慮し、シバザクラ（地被類）を植栽し、交差点名（下藤）を設置しています。



交差点形状	4枝
外径	27.0m
環道幅員	4.5m (5.0) ※
エプロン幅	2.0m (2.5) ※
中央島	12.0m
交通量	約3,500台/日

交差点の断面図



詳細画像

